

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	音楽療发型多機能事業所 奏かなで		
○保護者評価実施期間	2026年2月4日		2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年2月4日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月4日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	畑を所有していることから、屋内だけでなく屋外でも運動能力向上のための活動ができたり、季節を感じながら五感を刺激し向上させることができる。 野菜や果物などを実際に植えたり、収穫を行っており、自分たちが育てた野菜や果物を使って調理を行っている。	屋外では季節を感じれるよう、春はお花見、夏はプール・秋は虫取り・冬は氷の観察など、五感を感じれる活動が出来るようにしている。新しい食材を使い、匂いや触感、色の変化などを楽しみながら行っている。子ども達自身が食べてみたい、作ってみたい料理のレシピを調べて書き、活動として取り組んでいる。	屋外で感じた感覚を自分で記録として残せる絵画など、様々なプログラムとリンクさせた内容にしていく。食育について、職員も学び、子ども達に伝えながら、食べることや調理することの楽しさ、身近な食べもの、調味料などを実際に作ってみて、どのように出来ているかを知る。
2	音楽療法では、歌ったり楽器を鳴らしたりすることでのコミュニケーション能力の向上を図るだけでなく、地域からの依頼にてステージに出ることで日常では味わえない緊張感を提供する事が出来る。	自分たちでテーマに沿った歌詞を考え、一つの歌をみんなで協力し合って完成したものを、地域のステージで発表する機会を持てるようにしている。集団だけではなく個別の音楽療法も取り入れており、個々の能力に合った個別での課題に取り組む取り組みも実施している。	個別での計画を立てて課題や意向に沿った音楽療法にて日常スキルの向上や楽器のスキルアップに取り組むことで、集団での音楽演奏が子ども達で出来るようになるよう取り組む。また、自分たちで曲を作り上げ自分たちで編集する挑戦を行うことで、達成感を提供できる企画を計画する。
3	お買い物体験、水族館や動物園、ビートルワールドや美星天文台などの公共施設に連絡や段取りを行い、日頃なかなか経験できない体験をすることができる。	将来を見据えた経験や、子ども達が興味のあるものや場所、将来の夢を聞き取り、実際に体験したり、話を聞いたりできる機会を作っている。	子ども達の興味のあることや将来の夢など話しやすい環境を作りながら、職員間で共有する。公共交通機関や公共施設の利用について積極的に企画する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有、休みの職員や、午後からの勤務の職員への情報共有	児童が来所している時間や送迎に職員が出ている時間に出動する職員については、細かな情報共有ができていない。退勤時間も、バラバラなため次の日のミーティングに話し合うことになるが、休みや出勤時間がずれると伝えることが難しい。	日誌を有効活用し次の日休みの職員が引き継ぎたいことなど記載できるような工夫をしていく必要がある。
2	標準化されたツールやマニュアルが少なく、周知されていない項目が多々ある。	マニュアル化されていない項目も多々あり、整備されているものもどこに配置されているのかを一部の職員のみしか把握出来ておらず、周知が出来ていない。	マニュアルの整備及び作成している虐待防止、避難訓練、嘔吐物処理等については実践を取り入れた研修を実施し、周知を行っていく。
3	事業所前に道路が面している	事業所前の公道の交通量が多いため、送迎時や室内からの飛び出しなどの危険が多い。	玄関の移設は難しい為、車の乗降時には必ず職員が手を引くこと、玄関前に児童が来る際には職員が立ち会うことを徹底している。